



VIDEOART CENTER Tokyo

V I D E O   T R A C K I N G



ビデオがニューメディアの「技術・機械製品」として登場した黎明期から、今日のTV、インターネット、携帯電話、公共空間での電光表示に至るまで生活空間を取り巻く「環境」へと変遷してきたことを考えると、ビデオは最も現代的で、生活に密着したツールを用いていると言えるでしょう。一方でその環境下で、ますますイメージや情報の提供が単一化し、制度化する中で、それらビデオに取り囲まれている状況を逆手にとって、武器として構えたとき、ビデオは新しいメディアではなく、アートというコミュニケーション・ツールとして初めて真価を発揮すると言えます。ビデオアートセンター東京 VCT はこうした私たちを取り巻くメディアによって表現活動をするアーティストを支援する組織として設立されました。

Video as a media tool is very modern and popular in our daily life. When we think of it as a new technology in its early days, we would inevitably be conscious that it has come a long way to be significant part of the environment surrounding us, such as TV, internet, mobile phone, digital signage in public space, and so on. Meanwhile, under the current environment, the more simplified and dependent on the system the publication of images and information have become, the more effective means for artistic expression video would be. VCT was established as an organization to support artists trying to act against the present situation.

# VCT とは？

ビデオアートセンター東京／VCTは、日本におけるビデオアートとその他の時間芸術のためのセンターとして、2001年に河合政之、瀧健太郎、服部かつゆきを筆頭として設立。その目的は、それらのアートをめぐる国際的な新しいネットワークを形成し、状況を発展させることとし、ビデオアートが現在のメディア文化において持つべき役割を確立しなければならないと考えるビデオアーティストを中心とするスタッフによって、民間特定非営利組織（NPO）として自主運営されている。



## VIDEOART CENTER Tokyo

VIDEOART CENTER Tokyo(VCTokyo) was founded in 2001 as an organization for videoart and other time-based arts in Japan. The aim is to establish a new international network between those artistic fields and improve their conditions in the current society. As a non profit organization, VCTokyo is managed independently by videoartists and staff who consider it is necessary for videoartists to play a significant role in our society.

## About VCT

# 見る／創る

VCT クリエイティヴ・ソース

VCT Creative Source

映像をつかって表現するビデオアーティストを発掘し、紹介してゆきます。定期的に開かれるワークショップやセッションを通じて、若手アーティスト間の邂逅や作り手の意識を深め、様々な場面で活躍できるアーティストを育てます。

VCT is trying to find and introduce emerging artists in the field of moving image expression and their activities to the public. Also, VCT makes those artists to investigate new ways of expression and support them through workshops and sessions.

- 山形ドキュメンタリー in Tokyo (2006年、YIDFFとの共催)  
Yamagata International Documentary Film Festival in Tokyo
- ソウルでのシンポジウム (2007年、Alternative space LOOPとの共催)
- Intersection (2007年、遊工房との共催)
- Site Seeing/Sight Mapping (2001年、W3との共催)



見せる

ビデオアートチャンネルと展示

# Videoart channel / screening and exhibition

アーティストの作品をスクリーニングや展覧会の形で紹介します。

海外のヴィデオアートグループの活動、アーティストの紹介を行っています。2001年より催されたビデオアートチャンネルでは、まず海外でのインディペンデント・アーティストの団体がどのように活動し運営しているのかを知ることからはじめました。作品をはじめ、様々なインディペンデントビデオアートやアーティスト主体のグループなどを紹介し、フランスの戦後のアヴァンギャルド運動でもあるレトリスムの中心人物モーリス・ルメートルの初の来日と展覧上映会をはじめ、インスタレーション展や、ラウンジ形式でラフに作品を鑑賞するイベント、ビデオによるパフォーマンスやアーティスト・トークなどを数多く行っています。

VCT invites foreign video artists and introduces their works and activities. In 2001, we have started out by learning how the overseas independent art groups manage and maintain their activities through "Videoart Channel". Our activities include the introduction of Maurice Lemaître, a leading artist of Lettresme in French post avant garde movement after World War II, to Japanese audiences, casual video art screening, and hosting video installation performances and talk shows by various artists.

- モーリス・ルメートル展（2002年、東京日仏学院との共催）Maurice Lemaître and Letterisme (L'institute)
- エロディ・ポン展（2005年、TWSとの共催）Elodie Pong Peripheral Area
- V-lounge カナダビデオアート特集（2006年、TWSとの共催）V-lounge Canadian Videoart
- ブラジルビデオアート カルロ・サンソーロ 都市の境界線を可視化する  
Brazilian Videoart Carlo Sansolo "Visualization of Boundary"

# 越える

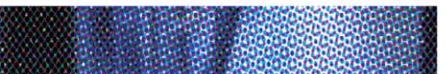
## VCT グローバルネットワーク

### VCT Care Global Networking

流通や情報網技術などの発展により、ますます狭く感じられている一方で、国や宗教を越えての相互理解がいかに難しいか、その他者性が新たに問われています。VCTでは海外展や海外アーティストの国内展など、文化を通じた国際交流や相互理解を経て、海外アーティストを巻き込んでのプロジェクトを通じ、世界的に共通な問題提起を模索します。

Due to the improvement of logistic and information technologies, this planet is becoming smaller and smaller. However, it's still quite difficult for us to overcome the barriers of nation states and religious differences. Through culture-oriented activities for mutual understanding, such as introduction of Japanese artist to overseas audiences and foreign artists to Japanese viewers, we collaborate with overseas artists to find out probable solutions for universal issues.

- テレビデミクインターナショナル展! (2003年)
- アジアビデオアート会議 Avicon (2003年)
- バンドゥン展 Avicon Bandung (2004年)
- セントロ・マルチメディア・メキシコ (2009年)



考える／提案する  
VCT メディアデザインチーム

# VCT Media Design Team

都市や公共空間にはデジタルサイネージなど動画によるコンテンツが様々に登場してきました。VCT メディアデザインチームは、アートとデザインの境界がなくなりつつある現在、それらを行き来するような新しい映像の提示方法をハードとソフトを一体化させてのご提案や、アーティストによる映像をニーズに合った環境でご紹介するプログラムなどを提案します。

Today, in public spaces and urban area, we inevitably view various types of moving image contents on such device as "digital signage". Beyond the border of art and design, the media designing team of VCT provides you with various ideas of video presentations and programs fit for environments of any sort.

# Current Project

不定義な境界 プロジェクト



Undefined ドキュメンタリープロジェクト



### DVD タイトル『シニフィアンの帝国』 "L'Empire des Signifiants" Various Artist

●収録作品

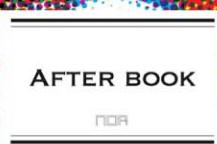
1. video composition #2 "Stolen Air" 5min. 潘健太郎／Kentaro Taki
2. "media cage" 7min. 潘健太郎／Kentaro Taki
3. Study on Media "education before education" 8min.43sec. 服部かつゆき／Katsuyuki Hattori
4. "President" 11min. 印牧和美／Kazumi Kanemaki
5. a ≠ a あるいは繰りつづけるデヴァタたちのために／"a not ≠ a or For Devatas Who Keep on Dancing" 15min.30sec. 河合政之／KAWAI Masayuki

2008年3月1日DVDリイシュー／総時間60分／DVDビデオ／NTSC／英語・韓国語字幕付／価格3,990円(税込)  
(Total length 60 min / English, Korean Subtitle)



コンピレーション

**DVD**



この作品は一度目を終えた物に対して新たな価値を持たせることをコンセプトに制作されました。素材は古本と廃品処理されたモニターを使用しており、映像と印刷が融合することで、他にはない、新しいタイプの作品に仕上りました。「After book」は、アートとして、またインテリアとして楽しめるオブジェです。

○作品名：「After book」

○価 格：48,000円 ※数量限定販売  
○制 作：design art unit NOR



### DVD タイトル「ヴィディオット・イン・コンテンプレーション」

"Vidiot in Contemplation" Various Artist

●収録作品

1. 「life IMAGED」13min. 印牧 和美／Kazumi Kanemaki
2. 「Living in the Box」6min. 潘 健太郎／Kentaro Taki
3. 「SHOT」11min. 西山修平／Shuhei Nishiyama
4. 「合い AI」9min. 韓成南／Sung Nam HAN
5. 「病理的ビデオ演習」"Pathologic Video Practices" 2min.  
「それは表象の庭で失われた」"The Lost in the Backyard of Surface" 7min. 大江直哉／Naoya Ooe
6. 「暴れこいのぼり」"Abare Koinobori" 15min.  
GOLDENSHIT (服部かつゆき／Katsuyuki Hattori + 新村雄亮／Yusuke Shinmura)
7. 「ビルト：ミュル」"Bild:Muell#1" 15min. 潘健太郎／Kentaro Taki

2007年8月1日発売／総時間68分／DVDビデオ／NTSC／英語・韓国語字幕付／価格3,990円(税込)  
(Total length 68 min / English, Korean Subtitle)



メディアアーティスト潘健太郎の作品として生みだされたこの作品は、映画誕生以降100年以上映像が四角いフレームで提示されていることを踏まえ、「円」の形態に注目しアートオブジェとして鑑賞できる映像作品としてフレームそのもののデザインを提案ものです。

○作品名：Circle Display 『円像 ENZO』

○価 格：48,000円 ※数量限定発売  
○制 作：潘健太郎



# VCT アーティスト紹介

## ■河合政之 Masayuki Kawai

デヴィッド・エリオット（初代森美術館館長）に「日本の最もエキサイティングなビデオ・アーティストの一人」と賞賛を受けるなど、その哲學的で先鋭的な映像作品は高い評価を受け、世界30カ国以上で上映、NY クイーンズ美術館（アメリカ）や国立国際美術館（日本）などにコレクションされている。文化庁、ボーラ美術振興財団の派遣芸術家としてNYで活動。帰国後、新しい時代のシンを切り開く才多なアーティストとして各界から注目されている。

## ■印牧 和美 Kazumi Kanemaki

1972年生まれ。日常に視点を置いた映像作品を多数制作。ボム・フィルム&ビデオフェスティバル（独）にて審査員特別賞受賞。2005年、VIDEO CALLINGを設立。

## ■瀧 健太郎 Kentaro Takii

1973年生まれ。ヴィデオコラージュを平面・立体に展開した手法が定評を得る。山本圭吾に師事し、「02-04年に文化庁とボーラ美術振興財団の助成を受けカルフルスルーワーク造形専科大（独）でミヒヤエル・ザウフに学ぶ。'05年よりVCTの代表。

## ■服部 かつゆき Katsuyuki Hattori

1973年東京に生る。日米両国で映像制作を修得し、メディア社会を考察するシングル・チャンネル作品やアナログ映像機器をつかう抽象動画の演奏をおこなう。作品制作とともに映像ワークショップや上映会の企画運営も多く手がけ、映像を介した越境的文化交流を推進する。

## ■西山 修平 Shuhei Nishiyama

ビデオアーティスト。1976年生まれ。立命館大学(1997-2000)にて美術批評を専攻。2002-2005年VCTokyoに参加。2007-2008年オーストラリアに在住し制作活動。国内外の映像フェスティバル、ギャラリー他にて作品を多数発表。ビデオについての考察を通じ世界を理解し、変革する可能性を提示する。

## ■韓 成南 Sung Nam HAN

1980年兵庫県出身。在日コリアン3.5世。Experimental Film and Video Festival in Seoul、Seoul New Media Festival Media Artist賞、Lausanne Underground Film and Music Festival、International Film Festival Detmold等で上映・受賞。日本、韓国、オーストラリア各地で個展開催。映像ユニットdosfoxの一員としても活動中。Far East Audio Visual Socialization代表。

## ■中村明子 Akiko Nakamura

1969年栃木生まれ。90年代米国で視覚芸術を学び、カリフォルニア州サンフランシスコ・アート・インスティテュート卒業後、映像制作をはじめる。作品と並行して、パフォーマンスアーティストやミュージシャンとの共同制作、ダンス公演の映像を手掛けるなど多面的に活動。

## ■小林泰賢 Yasutaka Kobayashi

1967年、東京生まれ。明治大学卒業後、イメージフォーラムにて金井勝、大木裕之に師事。8mmフィルムやvideo素材を使った作品やパフォーマンスを行う側ら、実験音楽の活動や音楽イベントを組織する。

## ■大江直哉 Naoya Ooe

早稲田大学川口芸術学校卒。メディア論を中心に、映画・廣告・テレビ・映像芸術を学ぶと共に、映像制作技術を習得。同時期、映画美学校にて佐藤真に師事しドキュメンタリーを学ぶ。現在、「映像制作ユニット Rhizome TV」「design art unit NOR」「メディアパフォーマンス・ユニット MiHaRi」にそれぞれ所属し、多岐に渡って映像制作活動を展開している。VCTではビデオエンジニアを務めドキュメンタリー映画の制作などに携わっている。

## ■吉田亮子 Ryoko Yoshida

セツ・モードセミナー 美術科卒業。2002年、Harvest Firm Inc. 設立。グラフィックデザイン、パッケージデザイン、エディトリアルデザイン、ジュエリーデザイン、スタイルリング等幅広く手がける。2008年、大江直哉と共にdesign art unit NORを結成。VCTの活動には、アートディレクター／グラフィックデザイナーとして関わっている。

## ■飯村 隆彦 Takahiko Iimura

1960年、個人による映画制作を始める。ビデオ・アートの先駆者一人として、1970年以来制作。ニューヨークの近代美術館、パリのポンピドゥセンター、ロンドンのラックス・センター、東京都写真美術館などで個展を開催。また、ブリュッセル国際実験映画祭特別賞、サンフランシスコ国際映画祭ゴールデンゲート賞、エジソン国際映画祭グランプリ、ユネスコの国際美術映画祭の「建築」賞など多くの賞を受賞。

# クロニクル / Chronicle

## 【国際文化交流／作品配給と作家の派遣】

- Aviso Especial ('09、メキシコシティ、セントロ・マルチメディア)
- ニッポン・コネクション 2009 - body, space, time. - Japanese Video Art Exhibition and Dance-Video-Performance ('09 ドイツ、フランクフルト、Mousontrum)
- Japanese Eye/Det japanska oegat ('08、スウェーデン、ノールショッピング美術館)
- V-Lounge Seoul/Tokyo ('07 年、韓国、ソウル、オルタネイティヴ・スペース LOOP)
- PROYECTO SALA NARANJA EN OBSERVATORI 2005 ('05、スペイン)
- ASEF アートキャンプ ('04、インドネシア、バンドゥン、セラサール・スナリヨ・ギャラリー)
- アビコン 2004 VCT イン・バンドゥン ('04、インドネシア、バンドゥン、セラサール・スナリヨ・ギャラリー)
- Sight サイト映像展 ('04、東京、銀座 SOMIDO ホール)
- AUTONOM IST NOCH NICHT EINMAL DER MOND ('04、ドイツ、ワイマール、ACC ギャラリー)
- Seni ('04、シンガポール、シンガポール美術館)
- OK Video Festival ('03、インドネシア、ジャカルタ、ルアンルバ)
- D'Konschtkéscht ('03、ルクセンブルク、エシュブル・アルツェッテ)
- City-Video-Object ('03、フランス、クレタイユ、メゾン・ド・クレタイユ)
- ポーフム国際ビデオフェスティバル ('01-'05、ドイツ、ポーフム)
- マイクロウェーブフェスティバル ('01、香港)
- ヴァイバーフェスティバル ('01、スイス、バーゼル)
- バトファー・フェスティバル ('01、フランス、パリ)

## 【企画フェスティバル／展覧会】

- 「不定義な境界 プロジェクト」  
('08、シンガポール CDN でのプレゼンテーション、横浜創造界隈 ZAIM での展示)
- 「リオ・東京 都市の境界線の可視化 カルロ・サンソーロ展」('08、7月、東京)
- 「"V-lounge" カナダのビデオアート」('06、1月/2月/3月、東京)
- 「スイスビデオアート エロディ・ポン展」('05、東京)
- 「ビデオアートチャンネル」  
('04、フランス、ドイツ、ブラジル、韓国・香港・東京、アフリカを特集)
- 「テレビデミク！国際展」  
('03 - '04、ジャカルタ、ベルリン、ジュネーヴ、香港、パリ、東京を巡回)
- 「AVICON アジアビデオアート会議」('03、12月、東京)
- モーリス・ルメートル展 ('02、11月、東京)
- 「ビデオアートネットワーク展テレビデミク！」('02、7月、神戸)
- "InVex" 日欧新世代ビデオアート交流展 ('02、4月、東京)

## About the Past Projects (Selected) Cultural Exchange/Distributed to; & Sent Members to:

- Aviso Especial ('09, Mexico city, at Centro Multimedia Video-Performance ('09, Germany, Frankfurt, at Mousontrum))
- Japanese Eye / Det japanska oegat ('08, Sweden, Norrköping Art Museum)
- V-Lounge Seoul / Tokyo ('07, Korea, Seoul at Alternative Space LOOP)
- PROYECTO SALA NARANJA EN OBSERVATORI 2005 ('05, Spain)
- ASEF Art Camp ('04, Indonesia, Bandung at Selasarsunaryo Gallery)
- Avicon in Bandung ('03, Indonesia, Bandung at Selasarsunaryo Gallery)
- Sight video exhibition ('04, Tokyo, at SOMIDO hall)
- AUTONOM IST NOCH NICHT EINMAL DER MOND ('04, Germany, Weimar, at ACC gallery)
- Seni ('04, Singapore, at Singapore Art Museum)
- OK Video Festival ('03, Indonesia, Jakarta, at Ruangrupa)
- D'Konschtkéscht ('03, Esch-sur-Alzette, Luxembourg)
- City-Video-Object ('03, France, Creteil, Maison de Creteil)
- Bochum International Videofestival ('01-'05, Germany, Bochum)
- Microwave Festival ('01, Hong Kong)
- Viper Festival ('01, Switzerland, Basel)
- Batofar Festival ('01, France, Paris)

## Video Festival, Exhibition Produce:

- Undefined Boundary Project  
('08- project presentation in Singapore, exhibition at ZAIM Yokohama)
- Visualization of boundary of Cities Rio de Janeiro – Tokyo feat. Carlo Sansolo (Tokyo, Jul. '08)
- V-lounge feat. Canadian Videocarts (Tokyo, Jan-Mar '06)
- Swiss Video Art "Peripheral Area" Elodie Pong (Tokyo, Sep. '05)
- Videocart Channel feat. French/German/Brazilian/Korean/Hongkong/Tokyo videoarts (at Pola Museum Annex, Tokyo, '04)
- TELEPIEMIC! International (Tokyo, Berlin, Geneva, Paris, Hong Kong, '03-'04)
- AVICON -Asia Videocart Conference (Tokyo, Dec. '03)
- Maurice Lemaitre and Leterisme Exhibition (Tokyo, Dec. '02)
- Videocart-Network-Exhibition TELEPIEMIC ! (Kobe, Jul. '02)
- inVex <Intercultural Videocart Exhibition - europe> (Tokyo, Apr. '02)



VIDEOART CENTER Tokyo

[www.vctokyo.org](http://www.vctokyo.org)

発行：特定非営利活動法人ビデオアートセンター東京

〒 102-0075 東京都千代田区三番町 28-7 RE-KNOW 三番町 5F co-lab

編集：大江直哉 潣健太郎 那須朝香 吉田亮子 吉田有希 英訳協力：大森繁

published by VIDEOART CENTER Tokyo

5F, co-lab, RE-KNOW sanbancho 28-7, Chiyodaku, 1020075

editor: Naoya Ooe, Kentaro Taki, Sayaka Nasu, Ryoko Yoshida, Yuki Yoshida translation: Shigeru Omori